

大垣女子短期大学
科目ナンバリング実施の手引き

大垣女子短期大学 教務委員会

1. はじめに

一般に、大学で行われている「科目ナンバリング（以下、「ナンバリング」といいます。）」とは、授業科目に適切な番号を付して分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みのことをいいます。ナンバリングは、平成 20 年 12 月の文部科学省中央教育審議会答申『学士課程教育の構築に向けて』で、「順次性のある体系的な教育課程を編成する（教育課程の体系化・構造化）」ことが大学に期待される取組として掲げられたことを契機として、我が国の大学教育に導入されるようになってきました。

これは、高等教育改革の文脈の中で、教育の質保証に向けた動きとして、全学で体系的な教育課程を示し、教育改善を進める仕組みを構築することが求められたことに関連しています。あわせて、教育のグローバル化の進展ともリンクしており、さらに米国では以前からナンバリングの仕組みが構築されてきたことともつながっていると考えられます。

こうした社会的な動向の中で、本学は教育の質保証と学生の学びの質向上に向けて、これまで様々な取組を行ってきました。まず、「建学の精神」「教育理念」に基づく「卒業認定・学位授与の方針（DP）」を中心として、「教育課程編成・実施の方針（CP）」、「入学者受入れの方針（AP）」を設定し、それらを学生が直接学ぶ授業と結びつけるため、実質的な学生の「学修成果」となる全学及び学科・教養科目・キャリア教育の「到達指標」を明確に示して、学生が習得すべき知識や能力等を観点別に表してきました。また、教育課程の計画においては、DP を達成するためにどのような科目が展開されているかを示す「カリキュラム・マップ」とともに、各授業科目の体系性と順序性を示す「カリキュラム・ツリー」を各学科・教養科目で作成、公表してきたところです。さらに本学では、学生の学修成果を検証するために、独自の「アセスメント・プラン」を作成しています。

こうしたこれまでの取組に加えて、教育課程の体系性と順序性をいっそう明確に示し、教学マネジメントの一環として教育課程の検討と見直しを推進していくために、ナンバリングを実施しています。これまで本学が目指してきた教育の質保証と学生の学びの質向上の実現に向けた多くの取組についてご理解いただくとともに、この手引きに基づくナンバリングの実施と活用にご協力をいただきますよう、お願いいたします。

【注】

- ◎「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー: DP): 学生が身に付けるべき内容を明確にするため、建学の精神や教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針で、学生の学修成果の目標となるもの。
- ◎「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー: CP): 体系的で組織的な教育活動の展開のための教育課程編成、教育内容・方法、学修成果の評価方法を明確にするため、DP の達成に向けて編成する教育課程、実施する教育内容・方法、学修成果の評価について定める基本的な方針。
- ◎「入学者受入れの方針」(アドミッション・ポリシー: AP): 入学者に求める学力を明確にするため、具体的な入学者選抜方法を明示し、大学の教育理念、DP、CP に基づく教育内容等を踏まえ、入学者の受け入れを定める基本的な方針で、受け入れる学生に求める学力の3要素に基づく学習成果を示すもの。
- ◎カリキュラム・マップ: 科目ごとに、それを履修することにより学生が何をできるようになるかを DP のどの項目を達成することになるかと関連させて明確に図で示したもの。
- ◎カリキュラム・ツリー: 学修内容の順次性と科目間の関連性を図示し、カリキュラム全体をとらえやすくしたもの。
- ◎アセスメント・プラン: 学生の学修成果の評価について、各大学等が、その目的、達成すべき質的水準、評価の実施方法などについて定めた学内の方針。

2. 本学における科目ナンバリングの目的

本学では、「大垣女子短期大学 科目ナンバリングに関する要項」を定めており、ナンバリングを「本学の開講する授業科目に適切な番号やアルファベットを付して分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組み」としています。

このナンバリングの目的については、次のとおり考えています。

(1) 学生の学びにとって

学生が授業を受けるにあたり、受講科目がどのような属性（学科やコース）を持ち、どのような学問領域や分野の、また、どのレベルの水準の授業なのかがわかります。さらに、どのような順序で科目を受講すれば、よりしっかりと学ぶことができ、かつ、学びが深まるのかがわかります。ナンバリングの取組は、こうした授業科目の受講にあたっての学生の受講科目に対する判断や理解を援助することを第一の目的としています。

(2) 教員にとって

ナンバリングによって教員は、教育課程の体系性をしっかりと理解しながら、担当する科目に求められる内容や水準を確認しながら授業の設計や内容の開発にあたることができます。あわせて、当該受講科目の前に学生が履修した科目から、授業に臨む学生の知識や能力等を把握したり、その授業後に履修する科目を理解することで、当該受講科目の授業方法や内容の改善を図っていくことなどを目的としています。

(3) 全体としては

教育の質保証や学生の学びの質向上を目指して、教育課程のいっそうの可視化を図ることで、体系性や順序性を高めた教育課程づくりを推進していくことが期待されます。あわせて、学生の学修成果や学修行動の状況とともに検討することで、教学マネジメントで目指している教育課程の検討についての実効的な取組を行っていくことも期待できます。

3. 科目ナンバリングの構成

本学における科目ナンバリングは、次の7桁の数字とアルファベットで構成します。

(1) 科目の基本属性

- ① 学科等コード（1桁の数字）
- ② コースコード（1文字のアルファベット）

(2) 領域や分野

- 学問領域・分野コード（1桁の数字又は1文字のアルファベット）

(3) 水準

- レベル等コード（1文字のアルファベット）

(4) 履修形態

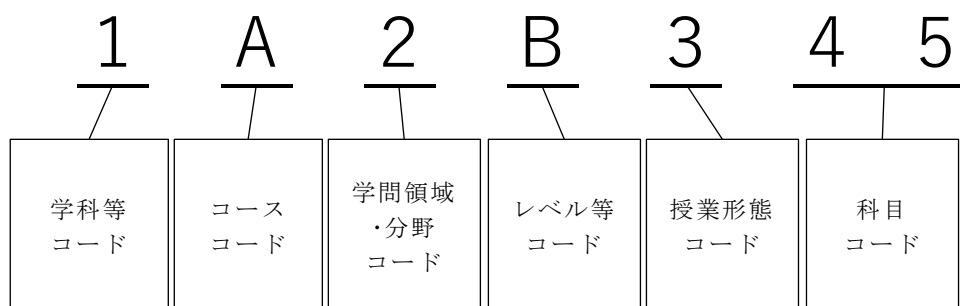
- 授業形態コード（1桁の数字）

(5) 科目番号

- 科目コード（2桁の数字）

4. 科目ナンバリングの配置

本学におけるナンバリングの配置は、次のとおりです。



5. ナンバリング作業

(1) 科目の基本属性の設定

①学科等コード（1桁の数字）

区分	コード
幼児教育学科 / Early Childhood Care and Education	1
デザイン美術学科 / Art and Design	2
音楽総合学科 / Music	3
歯科衛生学科 / Dental Hygiene	4
教養科目 / Liberal arts	5

②コースコード（1文字のアルファベット）

区分	コード	
幼児教育学科 / Early Childhood Care and Education	C	
デザイン美術学科	マンガ / Manga	M
	コミックイラストレーション / Comic Illustration	I
	ゲーム・CG / Game・Computer Graphics	G
	メディアデザイン / Media design	D
	全コース共通 / Share	S
音楽総合学科	ピアノ / Piano	P
	電子オルガン / Electronic Organ	O
	音楽療法 / Music Therapy	T
	ウインドアンサンブル / Wind Ensemble	W
	管打楽器リペア / Repair	R
	全コース共通 / Share	S
歯科衛生学科 / Dental Hygiene	H	
教養科目 / Liberal arts	L	

(2) 領域や分野の設定

○学問領域・分野コード（1桁の数字又は1文字のアルファベット）

①幼児教育学科

区分	保育の本質・目的に関する科目	保育の対象の理解に関する科目	保育の内容・方法に関する科目	実習	応用・発展	専修科目
コード	1	2	3	4	5	6

②デザイン美術学科

区分	美術表現	美術教養	表現基礎教育	ビジネス基礎教育	コース専門教育	コース共通教育
コード	1	2	3	4	5	6

③音楽総合学科

区分	ピアノ	電子オルガン	鍵盤楽器	グレード	ウインドアンサンブル	楽器リペア	音楽療法	自由科目	応用・発展
コード	1	2	3	4	5	6	7	8	9

④歯科衛生学科

区分	専門基礎科目	臨床歯科医学	歯科予防処置論	歯科保健指導論	歯科診療補助論	発展科目
コード	1	2	3	4	5	6

⑤教養科目

区分	人文	社会	自然	総合	社会人基礎
コード	1	2	3	4	5

(3) 水準

○レベル等コード（1文字のアルファベット）

基礎・基本 (Basic)	標準 (Standard)	深化・応用 (Advanced)	教養科目	その他 (いずれにもあてはまらないもの)
B	S	A	L	F

(4) 履修形態

○授業形態コード（1桁の数字）

区分	コード
講義	1
演習	2
実技	3
実習	4
他の形態	5

(5) 科目番号

○科目コード（2桁の数字）

各学科（専門科目）、総合教育センター（教養科目）で定めている、授業科目ごとに割り当てた2桁の数字

6. その他

この手引きは、「大垣女子短期大学 科目ナンバリングに関する要項」に基づいて作成した。